第２３期第１回
日高海区漁業調整委員会議事録

１　**開催日時**　　令和７年５月１９日（月）１４時００分～１４時４０分

２　**開催場所**　　日高振興局　２０２会議室

３　**出席委員**

池原孝一	浦川　聡	逢山義幸
大澤晃弘	梶川　徹	神田　勉
坂本好則	佐藤　勝	白石智泰
住野谷張貴	髙田　淳	徳田利則
中村　敬	深根英範	山中孝俊

４　**欠席委員**　　なし

５　**事務局**

（日高振興局）	振興局長	髙見芳彦
	産業振興部長	樋口雅士
	水産課長	林　恒之
	漁業管理係長	下田貴弘
	技師	大山大貴
（日高海区漁業調整委員会）	事務局長	佐々木真琴
	主事	大谷美夢

６　**議事事項**

議案第１号　日高海区漁業調整委員会会長、副会長及び職務代理者の互選について
議案第２号　北海道連合海区漁業調整委員会委員の選出について
議案第３号　道南連合海区漁業調整委員会委員の選出について
議案第４号　エリモ以東海区さけ定置漁業等調整協議会委員の選出について
議案第５号　えりも以西海域秋サケ資源利用調整協議会委員の選出について
議案第６号　一般財団法人胆振東部日高海域漁業操業安全基金協会委員の推薦について

７　**報告事項**

（１）第２２期第１７回北海道連合海区漁業調整委員会の開催結果について

８　**その他**

９　会議のてん末

産業振興部長　　ただいまから、第２３期第１回日高海区漁業調整委員会を開会いたします。

私は、当面の間、進行役を務めさせていただきます日高振興局産業振興部長の樋口と申します。

どうぞよろしくお願いします。

開会にあたりまして、この度の委員会の招集者でございます日高振興局長からご挨拶を申し上げます。

振　興　局　長　　皆様お疲れ様でございます。

振興局長の髙見でございます。

日高管内の漁業界を代表される方々にお集まりいただいておりまして誠にありがとうございます。

私の方から、開会にあたり一言ご挨拶申し上げます。

いま春の定置などが始まって何かとご多忙の中、ご案内したところ、皆様にご出席いただき本当にありがとうございます。

また、日頃から水産に限らず北海道の行政に色々ご協力をいただいておりますことに関しまして、あらためてお礼を申し上げるところでございます。

皆様ご承知のとおり、令和２年度に漁業法が改正されまして、海区委員会制度についても公選制から知事の選任制になりまして、今回が２期目の委員会となります。

委員の皆様におかれましては、各地域の方々から推され、去る３月１８日に北海道議会の同意を得て４月１日に任命されているところでございます。

当委員会は、地域における漁業の調整、指導等の重要な役割を担う場でございます。

本道漁業の振興にあたりご尽力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

また、公私ともにご多用の中、就任をご快諾いただきましてあらためて感謝を申し上げるところでございます。

さて、近年漁業を取り巻く環境は、燃油や資材価格の高騰など様々な影響がでておりまして、主要魚種でございますコンブやアキサケの減少など様々な問題等があるものと思っておりますが、日高管内につきましても赤潮被害からの回復途上にありこと、そして今年は、春定置でトキがかなり良いようなお話もお伺いしておりますし、コンブにつきましても今年は昨年より良いのではないかというお話も伺ってございまして、こういったことを明るい材料として我々も盛んに取り組みを進めて参りたいと思っているところでございます。

道といたしましても、委員の皆様方のご意見をいただきながら、管内水産業の活性化に向けて全力で取り組んで参りますので、引き続きご協力をお願いしたいと思います。
４年の任期になりますが、よろしくお願いいたします。

産業振興部長　それでは着座にて進行させていただきます。
本日は第１回の委員会でございますので、仮の席順に従って委員の皆様の紹介と海区事務局及び振興局の職員を紹介させていただきます。

＜委員、事務局及び振興局職員の紹介＞

それでは仮議長の選出にまいります。
法令により第１回目の委員会は知事が招集をいたしましたので、会長が選出されるまでの間、髙見振興局長が仮議長を務めさせていただきます。

議　　長　それでは、会長が選出されるまでの間、私が仮議長を務めさせていただきます。
議事に入る前に出席委員の報告をいたします。
委員定数１５名中、本日の出席委員は１５名で定足数に達しておりますので、本日の委員会は成立いたします。
次に議事録の署名委員でございますが、委員会規程により私の方から指名させていただきます。
議事録署名委員は、佐藤委員、中村委員のご両名にお願いします。
それでは、ただいまから議事に入ります。
議案第１号、日高海区漁業調整委員会の会長及び副会長並びに職務代理者の選出についてを上程します。
事務局から説明をお願いします。

事務局長　それでは議案第１号、日高海区漁業調整委員会の会長、副会長及び職務代理者の互選についてご説明いたします。
資料１をご覧願います。
議案の内容は、漁業法第１３７条第２項に規定する日高海区漁業調整委員会の会長並びに当委員会規程第２条第１項及び第３項に規定する副会長及び職務代理者をそれぞれ１名を互選いただくものでございます。
関係する法令等につきましては、資料をめくっていただきました裏面に記載しておりますので、ご確認願います。
説明は以上です。

議　　長　　ただいま事務局から説明がありましたが、選出の方法はどのようにしたらよろしいか、お諮りします。

逢山委員　　議長よろしいでしょうか。

議　　長　　はい、どうぞ。

逢山委員　　選考委員による選出でいかがでしょうか。
選考委員については議長に一任いたします。

議　　長　　ただいま逢山委員の方から、選考委員による選出として、選考委員は議長一任というご意見がありましたが、そのようにしてよろしいでしょうか。

各　委　員　　「異議なし」の声

議　　長　　それでは、そのようにいたします。
選考委員につきましては、営む漁業や地区バランスなどを考慮し、浦川委員、梶川委員、佐藤委員、住野谷委員、深根委員の５名にお願いしたいと思います。
選考にあたっては、規程に従いまして会長と副会長、職務代理者それぞれ１名の選考をお願いします。
それでは、選考が終わるまで暫時休憩します。

水産課長　　選考委員の方は、私が案内しますのでご移動願います。

＜暫時休憩＞

議　　長　　選考委員会が終了したようですので、委員会を再開いたします。
選考結果を報告願います。

水産課長　　事務局から報告いたします。
ただいま別室におきまして、慎重かつ厳正に協議した結果、全員一致で会長に大澤委員、副会長に坂本委員、職務代理者に逢山委員が選考されましたので、ご報告します。

議　　長　　それでは、ただいまの選考委員会におきまして
会長に大澤委員、副会長に坂本委員、職務代理者に逢山委員が選考されましたが、そのとおり決定してよろしいでしょうか。

各　委　員　　「異議なし」の声

議　　長　　それではそのように決定いたします。
　新会長が決まりましたので、これで私の役目は終わらせていただき新会長と交代いたします。
　ご協力いただきましてありがとうございました。

水産課長　　それでは引き続き議長を新会長に交代して会議を取り進めたいと思いますが、振興局長及び産業振興部長については所用によりここで退席いたします。

＜振興局長、産業振興部長退席＞

事務局長　　それでは進行を日高振興局から海区委員会に交代いたしまして議事を進めて参ります。
　ただいま選任されました大澤会長から、就任のご挨拶をいただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

会　　長　　会長の就任にあたり、一言、ご挨拶申し上げます。
　ただいま、委員の皆様からのご指名により、会長という重責を仰せつかり、身の引き締まる思いでございます。
　先ほど、髙見振興局長のご挨拶にもありましたとおり、長びく赤潮被害の影響や海洋環境の変化に伴う漁獲減少など、管内の漁業は大変厳しい状況におかれております。
　とりわけ、秋サケの漁獲低迷に伴い厳しい経営を強いられている定置漁業では、これまで経営を支えきた漁獲共済制度の見直しが行われ、今後の漁業継続に強い危機感を抱く漁業者もおられます。
　この任期中には、５年に１度の定置漁業権の切替作業も控えており、海区委員会は漁業調整の機関として浜からの期待に応えていかなければなりません。
　そのためには、行政の皆様、委員の皆様のご支援、ご協力が必要不可欠となって参ります。
　私も微力ではございますが、会長としての責務をしっかり果たして参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。
　最後になりますが、本日、ご臨席をいただきました皆様のご健勝と当委員会の益々の発展をご祈念申し上げ、
　簡単ではございますが、会長就任のご挨拶とさせていただき

ます。
本日はどうぞよろしくお願いいたします。

事務局長　ありがとうございました。それでは、大澤会長の議長により議事の進行をお願いします。

議長　それでは、議事を続けます。
議案第２号から第６号までは関連しますので、一括で上程したします。
事務局から説明願います。

事務局長　それでは議案第２号から第６号につきまして、お配りの資料２から資料６により順次、一括してご説明いたします
まず、資料の２、北海道連合海区漁業調整委員会の選出につきまして、漁業法第１４８条第２項及び北海道連合海区漁業調整委員会設置規則第２条第１項で規定する委員を１名。
資料の３にまいりまして、道南連合海区漁業調整委員会委員の選出につきまして、漁業法第１４８条第２項及び道南連合海区委員会規程第３条に規定する委員を３名。
資料４にまいりまして、エリモ以東海区さけ定置漁業等調整協議会委員につきまして、同協議会規約第４条に規定する委員を２名。
資料５にまいりまして、えりも以西海域秋サケ資源利用調整協議会委員につきまして、同協議会規約第４条に規定する委員を３名。
資料６にまいりまして、一般財団法人、胆振東部日高海域漁業操業安全基金協会委員につきまして、同協議会審査会委員への就任依頼がありましたので１名を、それぞれ選出または推薦するものとなっております。
なお、各資料の裏面にはそれぞれの関係法令の条項、規約あるいは依頼文を示しておりますので、ご確認いただけますようお願いいたします。
また、参考資料１といたしまして、横表の１枚物の資料になりますが、各組織の目的と第２２期中の就任状況をまとめておりますので、選考の参考にご覧願います。
議案の説明は以上です。

議長　ただいま説明がありました。
委員の選出方法は、いかがいたしましょうか。

逢山委員　先ほどの選考委員会で選考してはどうでしょうか。

議　　長　　逢山委員からご発言がございましたが、先ほどの選考委員会で選考いただく方法でよろしいでしょうか。

各　委　員　　「異議なし」の声

議　　長　　逢山委員からご発言がございましたが、先ほどの選考委員会で選考いただく方法でよろしいでしょうか。異議なしとのことですので、先ほどの選考委員の方々には、もう一度別室にて協議をお願いいたします。
　協議の間、暫時休憩といたします。

事務局長　　それでは、佐藤委員、浦川委員、梶川委員、深根委員、住野谷委員におかれましては、先ほどの会議室の方へご移動願います。

＜暫時休憩＞

議　　長　　選考が終わったようですので会議を再開します。
　ただいま別室で協議を行った結果について、事務局から報告してください。

事務局長　　それでは、選考結果をご報告いたします。
　議案第２号、北海道連合海区漁業調整委員会委員に大澤会長でございます。
　議案第３号、道南連合海区漁業調整委員会委員につきましては、逢山委員、山中委員及び梶川委員の３名でございます。
　議案第４号、エリモ以東海区さけ定置漁業等調整協議会委員につきましては、神田委員及び白石委員の２名でございます。
　議案第５号、えりも以西海域秋サケ資源利用調整協議会委員につきましては、大澤会長、梶川委員及び浦川委員の３名でございます。
　議案第６号、胆振東部日高海域漁業操業安全基金協会委員につきましては、大澤会長でございます。
　報告は以上です。

議　　長　　選考委員の選考のとおりに決定してよろしいでしょうか。

各　委　員　　「異議なし」の声

議　　長　　それでは、そのように決定いたします。
　選任された委員におかれましては、当海区の代表として、各種委員会へのご協力をお願い申し上げます。
　続いて報告事項にまいります。

報告の１につきまして、事務局から説明願います。

事　務　局　長　　報告事項１についてご説明いたします。

右肩に報告１と記載された会議次第をご覧願います。

第２２期第１７回の連合海区委員会が、３月２１日に札幌市で開催され大澤会長と私が出席しております。

会議内容につきましては、次第に記載のとおり令和７年度さけ、ます人工ふ化放流計画についてほか、令和６年度秋サケ沿岸漁獲、河川親魚捕獲、採卵結果についての報告でございます。

管内に関係する内容のみご説明いたします。

資料の９ページ、令和７年度サケ地区別総括表をご覧いただきまして、右から２番目の列にあります放流数の増減のみご報告いたします。

日高の部分では、エリモ以東西部地区でマイナス１００万尾となっており、西部地区には十勝管内の河川も含まれますが、当該１００万尾は管内の猿留川のものでございます。

エリモ以西の日高地区でマイナス１７０万尾となり、合計２７０万尾が管内関係の減少となります。

一番下の全道計では、令和６年度計画が９億８，５２５万尾であったのに対し、本年令和７年度計画が９億２，４４１万尾で６，０８４万尾の減となります。

これら全道の計画減につきましては、昨今の急激な来遊変化により計画と実績に大きな乖離がみられたことを踏まえ、近年の実績などから見直しを図ったとの説明が当日ございましたが、当日高管内におきましては、親魚捕獲、採卵も概ね達成している状況にございまして、この放流計画数の削減につきましては、施設の利用の緩和を図り、もって大型種苗の育成や放流後の餌料環境を踏まえた分散放流など回帰率向に向けた取り組みを行うためのものと伺っておりますので、その旨を補足いたします。

続きまして、１０ページ以降にサケの河川ごとの詳細について、また１７ページ以降にカラフトマスとサクラマスの計画がそれぞれございますので、後ほどご確認願います。

続きまして、報告事項の令和６年度秋サケ沿岸漁獲、河川捕獲採卵結果につきましては、資料の２４ページ、２５ページにそれぞれ記載がございますが、昨年１２月に開催しました当委員会にて１１月２０日現在の状況をご報告いたしており、そこから大きな増減がありませんので、ここでの説明は割愛いたしますので、後ほどお目通しのほどよろしくお願いいたします。

最後に、資料の最終２７ページをお開き願います。

これは、秋サケの減少要因について、近年の知見を含め説明するため、道総研サケマス内水試から追加で提示された資料でございます。

まず、左上の図１ですが、これは北海道の東から流れてくる親潮の、強さ、面積を表した図で、縦軸で上に行けばいくほど面積が大きいと言うことになります。

オレンジ色の波線が２０２３年から２５年の面積を示してお

り、上の白い波線が過去２０年位の平均値を表しております。
一昨年の２０２３年４月では、縦軸の１０の辺りにあったものが、昨年２０２４年４月ではその半分くらいを示しており、昨年の春は親潮の勢力が特にに弱かったと言うのが特徴です。
さらに、近年の２０２３年から２５年にあっては、平均の白線と比べても勢力が小さかったという説明でございました。
次に右側の図２に参りまして、上段の図が３月上旬における過去２０年平均値に対しての偏差を表し、赤色が平均より高く、青色が平均より低いことを表しております。
下段につきましては、同じ３月上旬の海流となっており、房総半島の方から流れ出ている赤い帯状のものがありますが、これが黒潮続流に対応しているとのことです。
特に２０２４年に注目いただくと、赤帯が他の４年と比較しだいぶん北上あるいは東北に張り出しており、結果として図１で２０２４年の親潮の勢力が弱まっていることに繋がるとの説明がございました。
サケ稚魚の海洋での初期生活期の適正水温は５度から１３度と言われておりますが、こうした最近の海洋環境の変化により、上限の１３度に達する時期が早い年や５度から１３度の期間が短い年が、近年多く見られるとの説明でございました。
また、この適水温の期間が短いことは、当然秋サケの稚魚が食べる餌にも影響が出てくるということで、左下の図３をご覧願います。
昆布森沿岸でのプランクトンのモニタリング調査の結果が示されております。
上の赤色の折れ線グラフがプランクトンの数を表し、下の棒グラフが動物プランクトンの種類の組成を表しております。
まず、上の図を見ますと、２０１９年、２０２０年ではかなり０に近く、２０１９年は特に数が少ないことが際立っております。
下のグラフに参りまして赤色と青色がありますが、これらはサケ稚魚好むとされる冷水性のカイアシ類を表しており、赤色が２ｍｍ以上、青色が２ｍｍ未満を示しております。
サケ稚魚はこの赤と青を好むとのことですが、２０１６年辺りから緑色が早い時期から出現するようになってきておりまして、この緑色は、シカク類という種類で中身的に暖水性の餌が中心であまりサケが好む餌ではないとのことで、最近の水温条件の変化により餌料の出現にも影響がでているとの説明でした。
また、資料に記載はありませんが、こうした影響は網走沿岸でも出ており、６月になると暖水性のプランクトンが出現しているということで、北海道周辺のサケ稚魚を取り巻く環境が変化しつつあることは間違いのないとの説明もございました。
続いて右下の図４にまいりまして、こちらの図は９月中旬の秋口における先ほどの図２と同様海水温の偏差と海流の図になります。
昨年２０２４年と一昨年の２３年辺りが特徴的で、黒潮がか

なり北上しており、上段の偏差でも見られるとおり真っ赤になっております。

この影響で、最近では北海道でもフグがとれるとか、昨年には南茅部の方でもカツオが獲れるなど獲れる魚種も変わってきており、サケの動きや漁獲の時期や場所にも影響を与えるなど、秋の状況も春と同じく非常に変わってきているとの説明がございました。

なお、右上の図２に目を戻していただきまして、２０２５年の黒潮続流につきましては、２０２４年と比較するとあまり北に張り出しておりませんが、親潮についてもさほど流れは強くないと見込まれるため、昨年ほどではないにせよ、同じような状況になるものと捉えているとの説明もございました。

資料の裏面には近年における若齢化を示した左側の図と、年齢と来遊数の関係を表した図がありますが、こちらの説明は割愛したします。

これら秋サケの減少要因について説明ののち同内水試の研究主幹からは、春の水温の上昇速度が極めて速くなっている中で餌料の状況も悪く、後期資源の放流適期が外れやすくなり、後期資源への依存度が高いエリモ以西海区の資源に影響を与えてきたことが明らかになってきており、また情報も積み重なってきていることから、得られている情報に基づき放流適期をしっかり捉えるとともに各孵化場にも伝え、より効果的な放流に結びつけていくことや餌環境の悪い中でも生き残れる大型稚魚の放流について、情報提供と技術指導に取り組んでいく旨の説明がございました。

以上、つたない説明でございますので、内水試の説明の詳細につきまして更に詳しく知りたい委員がおられましたら、議事録を送付いたしますので、事務局までお申し付け願います。

なお、議案のふ化放流計画につきましては、委員会の中で適当である旨答申することで決定され、３月２８日付けで策定されていることを申し添えます。

以上で、報告事項１の説明を終えます。

議　　長　　ただいまの説明に関し、ご意見、ご質問等ございませんか。

各　委　員　　「ありません」の声

議　　長　　それでは、本日予定していた議題は以上となります。
皆さんから何かございませんか。

各　委　員　　「ありません」の声

議　　長　　それでは事務局から連絡事項をお願いします。

事務局長　　＜関係諸規程、次回開催予定、席順くじ引きについて説明＞

議　　長　　それでは、最後に委員会での席順を決める抽選を行います。
事務局が回りますので、皆様くじを引いてください。

＜くじ引き＞

議　　長　　それでは席順を報告してください。

事務局長　　＜席順の報告＞

議　　長　　それでは、次回の委員会からただいまの席順で着席していただきますので、よろしくお願いします。
これで本日の委員会を閉めたいと思います。
お疲れ様でした。

≪閉　　会≫